

青年協ニュース

全国の取組みやチラシ・ニュース等をお寄せください！

日本医労連 FAX: 03 - 3875 - 6270 email: n-ootani@irouren.or.jp

- * このニュースは各県と各県青年部の代表(分かる範囲で)に送ります。
メール配信や会議での配布など、多くの青年に渡るようご協力ください。

いっぱい学んだ...

青年学習交流集会アンケートから抜粋して紹介

参加...118人(6全国組合・29都道府県医労連)、うちアンケート回収91人

入職して...1年目(2人) 2年目(9人) 3年目(10人) 4年目(16人) 5年目(8人) 6年目(12人) 7年目(9人) 8年目(9人) 9年目(6人) 10年目以上(9人) 不明3

この集会の参加は何回目?...初めて(50人) 2回目(27人) 3回目以上(11人) 不明3

講演について...



- ・医療現場で働く女性の権利が確立していった歴史がわかりました。今ある労働条件が1つずつのたたかいで得られたものであることを改めて感じました。そういう歴史を踏まえつつ、では今、自分のいる組合や県やブロックはどういう方向へ向かっているのか、何とたたかっているのか?と考えました。歴史を学ぶと大きな視野で振り返ることができますが、今自分がいるところを見れば春闘だったり、アクトだったり、1つひとつ小さいことにいっぱいいっぱいです。今やっていることであっても、これからどうなっていくのか、大きな道筋を持たたならなあと思いました(4年目女)
- ・今までの労働運動によって現在当然と思えることが実現していることを学ぶことができた(結婚・出産・労働時間など)。それらを踏まえううえで、現在の課題が変わってきていることや、たたかい権利の行使をしていかなければ、当然の権利すら奪われかねないことを知りました(4年目男)
- ・組合のたたかいの歴史を知ることができ、ためになりました。「組合は大事だと改めて思いました」(4年目男)
- ・自分がまったく知らなかった、過去のひどい労働条件を組合活動で変えてきた経過がよくわかった。それにしても、過去の看護師さんたちのひどい労働条件にびっくりした。また、「たたかう」という表現については、自分自身も少し抵抗がある。理由は「たたかう」という言葉に対するイメージが良くないからです。でも言い方を変えて、「主張」「意見」というニュアンスにすればなるほどという感じになる(4年目男)
- ・とても考えることができました。今では当たり前になっていることは、先輩組合員が勝ち取ってきたものだということを実感した。組合員として頑張っていけば、今は無理でもいつかは変わるという気持ちを持ち、活動していくことは大事だと感じた(9年目男)

* 次号に続く...



被災60周年国際署名・宣伝行動に取り組もう

5月～8月は、全労連青年部の年間を通した平和の取組み「Peace Wind」の集中月間です。各組織とも積極的に県労連や地域労連に結集しましょう。日本医労連青年協議会全体では「被災60周年国際署名・宣伝行動」を呼びかけます。すでに日本医労連としてこの署名の取組みを呼びかけていますが、今月間用に全労連青年部で独自に署名用紙（裏面はチラシ）を作成しましたので、再度、日本医労連青年協としても取組みを呼びかけます。最低でも期間中に一度の宣伝・署名に取り組ましましょう。

署名用紙（合計3000枚）の配布数一覧表と発文書は、本日各全国組合・都道府県医労連に送りました。全国組合の支部へは、全国組合本部から送ってもらいます。

署名集約目標 1万筆
署名集約期限 8月27日(金)必着
送付先 〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5
日本医労連青年協議会事務局
(TEL:03-3875-5871 担当:大谷・井上)



最近ちょっといい感じ！ 青森青年委員会

この間の青森の活動を報告します。4月17日南部地方（八戸）にオルグに行きました。青年はいるのだけどもいまままで青年部活動をしてきてなかったところ。全部で15人参加！今回は顔合わせとなりました。

4月28日新人歓迎会やりました。全部で25人参加！当初、花見をやろうとしましたがあいにくの雨で病院の体育館をかりてやりました。

7月17日プレアクトやります。今年も昨年好評だったキャンプです。みちのくアクトに向けて奮闘中です。
(青森県青年委員会 委員長・瓜田秋良さん、青森健生労組からのメールより)



北海道に続き、京都労連も最賃体験スタート

京都の坂田政春さんから、「最賃生活に突入」との報告メールが来ました。京都労連青年部の取組みとして医労連からの参加です。下記のH・Pをチェックして、励ましのメールを送ろう！！

とうとう生活がスタートしました。医労連のホームページに坂田の最賃日誌を載せてます。

京都医労連のホームページ (<http://www.labor.or.jp/ioren/>)

(京都医労連青年部書記長:坂田政春さん・京都医労連専従からのメールより)